

十一月十七日

七時過起床。メディア建築開発のシンプルな企画書をメモする。十時シャープの面々来室。打合わせ。十一時半修了。雑事。細かい打合わせ。忍田邸スケッチを四〇分程集中。十六時半幸脇夫妻来室。十八時修了。十九時過新大久保の近江屋で若松社長と会食。ロシアでの話を聞く。二十一時半迄。

十一月十八日

十時山本哲史、十勝の後藤氏来室。山本氏の構想を聞く。十一時過より幾つかの打合わせ。十二時四十五分学科会議室。嘉納先生と打合わせ。十三時教室会議。十五時教授会。今日は理工学部が三分割されそのCグループの学部である我々建築学科が属する創造理工学部の学部長準備室長選挙があるので、教授達の出席率は高い。三つに分かれた学部の我々の学部だけが選挙で、他は話し合いでトップを決めてしまった。建築は社会環境と名を変えた土木、資源と最後まで考え方に開きが残り、機械（ロボット）の代表をトップに押し、学科独自の候補は立てなかった。十七時投票を開始。二度の投票で建築が押しした候補が当選となる。色々途中で学内政治的圧力がかかり危惧していたが、まずは良かった。安堵の胸をなでおろす。学科主任も良くやった。私としても、久しぶりの一勝であった。十八時半新大久保駅前の近江屋で一人祝勝のビールを飲む。山本啓史、後藤氏、そして、社長若松氏参集。ロシアにおける食材ビジネスに関して話し合う。山本氏はウ

クライナに詳しい。日本のマーケットの枠外の話はリアリティがある。二十一時散会。この類いの集りで何かが簡単に動くとも思えぬが、座して待つよりは良いだろう。日本はもう内側に居て、内側からの発想ではどうにもならない。外から見て、外から働きかけた方が良い。というよりも、その視線無くしては深く有効な考えは生まれない。

十一月十九日

雨模様で暗い朝だ。十一時研究室。打合わせ数件。十三時日本経済新聞社インタビュー。十五時設計製図。十七時半研究室にて雑務処理、およびMMA開発企画書作成。二〇時半修了。忍田さんに新しいプランのFAX送る。伊藤邸明日UPの予定。明日は利根町に行かねばならぬのだが、体が少々しんどい。行くか行かぬかは明朝決めよう。

十一月二〇日

朝、快晴で気分も良いので利根町に出掛ける事にした。只今、十時日暮里より常磐線車中。こういう時間も大事。十時四〇分取手。佐藤さんと共に実行されつつある利根町百人スクール百笑園農園見学。マ、一年目に成功するわけがない。竜ヶ崎のスーパー四Fのギャラリーで石川礼子さんの俳句と写真展を見る。農村集落センターの、百人スクールソバ打ちの会。竜ヶ崎の男性が料理をする会のメンバー十名程のソバを御ちそうになる。つけもの、まんじゅう等も用意され、まんじゅうは商品にする事を始めている。前田さんの手作りまんじゅうである。食事後、百人スクール桜の樹を百本いよいよ植える事になり、その相談。ゆっくりだが百人スクールは進んでいる。佐藤宅で石川陽子さんのつけもの他

キクのつけモノ等、例によって沢山おみやげをいただき取手まで送ってもらう。車の中で女性同志のおしゃべりをウトウトしながら聴いていると世間の一端を知ることができる。只今、十五時半頃常磐線で上野へ走っている。眠い。